

令和6年度第11回常滑市教育委員会定例会

令和7年2月19日(水)

午後2時30分

市体育館1階会議室

1 開会 午後2時30分

2 前回定例会・臨時会会議録の承認

「承認」

3 会議録署名者の指名

「安井由希子委員」

4 出席委員

藤田幸恵委員、安井由希子委員、久田孝寛委員、梶田幸司委員、土方宗広教育長

5 欠席委員

なし

6 教育長の報告事項

それでは、教育長の報告事項につきまして、1月22日の定例会以降の教育委員会の動きの主なものをご報告いたします。

まず1月24日には市議会協議会があり、教育委員会関連として学校給食費に係る保護者負担額の変更について説明をさせていただきました。

2月1日には、保示区にある正住院において、第59回常滑市文化財防火訓練を行いました。正住院はたいへん大きな寺で総門が見事です。また境内には六角堂があり、本堂も大きく迫力を感じました。このお寺には県指定文化財として高久隆古が描いたふすま絵をはじめとする作品群があります。市指定文化財もいくつかあります。この正住院において、通報訓練、火災防御・放水訓練、さらには消火器取り扱い訓練等を行いました。地元の方々も参加してくださいました。1時間ほどの訓練でしたが実のある訓練であったと思います。2月2日には体育協会表彰式に出席しました。41名の方々が表彰を受けられました。記念催事では「全日本パラ卓球選手権大会シングルクラス10で4位」で表彰された松山順一さんの講話がありました。自らの体験談をもとにした、大変興味深い講話で、常に周りの人への感謝の気持ちを忘れないでほしいことを力説されました。

4日には市町村教育委員会連合会理事会に藤田委員とともに出席しました。例年同様の議題の承認の後、総合教育会議の議題やプール指導の民間委託とプール跡地の利用について意見交換会を行いました。5日は尾張部都市教育長会議に出席をしました。県教委からは各担当課から様々連絡依頼事項がありました。私が最も強く感じたのは、県からの小中学校に対する教育予算がなかなか充実したものにならないことでした。国に依存することなく、県単独措置で小中学校への教育予算をつけることがそんなに難しいものなのかと考えさせられました。6日は第2回小中学校PTA連絡協議会に来賓として出席させていただきました。私からは、今年度も小中学生で命を落とした子どもはいないことが一番うれしいというお話などをさせていただきました。しかしながら、命の危険が全くなかったわけではないことも話しさせていただきました。

7日はイベントばる〜んへ参加しました。ばる〜んへ通所する子どもたちの作品を見

たり、子どもたちが作ったお菓子を購入したりと子どもたちの活躍する様子を観ることができうれしく思いました。14日は第2回人権教育実行委員会に出席しました。今年度、県から「愛知人権教育推進のための調査研究委託事業」の委託を受け、市内の中高生、保護者に対して講演会を行ったわけですが、その事業報告と成果を検証いたしました。委員からは弁護士や人権相談員の講話が生徒にはとても分かりやすく、生徒たちの人権に対する意識向上に役立ったという意見が目立ちました。

17日には市校長会議を開催しました。来年度認められた教育予算についての説明や年度末へむけた留意事項、さらには来年度へ向けた様々なことを依頼しました。

報告は以上でございます。

本日の定例会は、議案1件、報告1件でございます。

また、定例会後、教育委員会表彰式があります。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

7 議題 付議事件

議案第1号 公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定について

学校教育課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

梶田委員：2点ありまして、まず1点目に、端末更新の際に300台ほど残しておくとの予定ですが、残す理由は数字の根拠は何でしょうか。2点目として、ICTの活用調査を見ると、端末を授業で活用している頻度としては高いのに対し、内訳をみると全国的に見てもかなり低いものが見受けられますがどういうものでしょうか。また、改善策についてももう少し具体的なものがありますか。

学校教育課長：一点目については、オンライン配信等で遠隔でも授業が受けられるようにという活用方法を検討して残しております。2点目の数字が低い部分については、やはり授業で電子黒板等の利用では使われていますが、グループワークや発表等、児童生徒同士のやり取りの部分についてはまだまだ低いということで、改善の必要性を感じております。そして具体的な改善策についてですが、各学校からより細かい実績値等出てきておりますので、そちらを分析して各校と連携したり、常滑市のフェローによる研修の実施等推進していきたいと思っております。

教育長：他に何かございますでしょうか。

藤田委員：欠席連絡等オンラインでできるようになったという話を聞く一方、伸び悩んでいる部分もあると感じました。また、情報を電子上に公開する際、外部に情報を晒すリスク等も考えないといけないなどの課題もあると思っています。皆が情報機器をうまく使いこなせるように、教育委員会として対応よろしくお願いします。

教育長：他に何かございますでしょうか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

報告第1号 市指定有形文化財「灰釉大甕（自然釉折り端の大甕）」の県指定（市指定の解除）について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

梶田委員：市から県へ指定が変わることによるメリットはありますか。

生涯学習スポーツ課長：修繕等の補助金が県からもらえる等のメリットがあります。

教育長：他に何かございますでしょうか。

委員全員：ありません。

「承認」

8 その他 （諸報告について）

- ・ 行事連絡（2～4月）
- ・ 令和6年度教育委員会表彰の追加候補者について
- ・ 常滑市立学校施設使用条例の制定について
- ・ 大野小及び青海中への「区域外通学」について
- ・ 常滑市育英奨学金の新規貸与の終了について
- ・ 西浦南小学校の今後について
- ・ 小学生のための「お仕事ノート」について
- ・ 常滑市体育館大規模改修事業について

9 閉会 午後3時30分